

-----

【国産乗用車 編】

《日産》 ver6.79

2020年8月までの車両で全自己診断に対応しました。

カメラエラーミングに対応しました!!

- ・ KICKS / HP15 2020/03 まで
- ・ DAYZ / AA1 2020/05 まで
- ・ ルークス / BA1 2020/01 まで

《日産》 ver6.78

カメラエラーミングの入力仕様を整備書に合わせて新しくしました。

計測したホイールアーチの高さと、整備書に記載されている車両基準値を入力するようになります。

《スズキ》 ver4.61

下記の作業サポートに対応しました。

[オートレベリング]

- ・ 車高値初期化

[レーダブレーキサポート]

- ・ バリエーション書込み

[AGS(Auto Gear Shift)]

- ・ メンテナンス用変速回数初期化

《スズキ》 ver4.60

2020年9月までの車両の全自己診断・データモニターに対応しました。

《ダイハツ》 ver5.52

2020年11月までのタントのステレオカメラ光軸調整に対応しました。!!

《スバル》 ver5.52

キャンセルコード読取機能を追加しました。

インプレッサ/XV [GK/GT] (区分: A~E)

フォレスター [SK] (区分: A~C)

- エンジン(クルコンキャンセルコード)
- トランスミッション(再始動キャンセルコード)
- アイドリングストップ(再始動キャンセルコード)
- ハイブリッドパワートレインコントロール(クルコンキャンセルコード)
- アイサイト(EyeSight 一時停止コード、追従クルコンキャンセルコード、渋滞時追従支援/車線中央維持キャンセルコード、

渋滞時追従支

援/車線中央維持非作動コード、車線逸脱抑制非作動コード)

- 後側方警戒支援システム(RH)(キャンセルコード)
- 後側方警戒支援システム(LH)(キャンセルコード)
- 後退時自動ブレーキ(キャンセルコード)
- ドライバーモニター(キャンセルコード)

BRZ [ZC] (区分: A~H)

- エンジン(クルコンキャンセルコード)

《マツダ》 ver6.25

RVM または BSM のエーミングに対応しました。!!

(RVM と BSC に対しては、DTC 読取り/消去/データモニタ表示も行えます)

- ・ RVM エーミング: アテンザ GH 系
- ・ BSM エーミング: CX-3 (DK5AW/DK5FW の 2015 年 2 月から 2016 年 10 月まで)

故障コードの読取り消去の対象システムを追加しました。

CX-3 : BSM, CMU, DCDC, DSM, EPB, ESU, HUD, SSU

アテンザ GH 系 : RVM, MPM, LCM

アクセラ BM 系 : AM, CMU, DCM, DSM, EPB, HUD, SSU

《マツダ》 ver6.24

BSM (ブラインド スポット モニタリング) のエーミングに対応しました。!!

(BSC に対しては、DTC 読取り/消去/データモニタ表示も行えます。)

- ・ デミオ DJ 系の年式 2014 年から 2016 年の車両

《マツダ》 ver6.22

RVM(リヤ ビークル モニタリング)、BSM (ブラインド スポット モニタリング) のエーミングに対応しました。!!

(RVM と BSC に対しては、DTC 読取り/消去/データモニタ表示も行えます)

・ RVM エーミング： 2009 年～2016 年までの AXELA(BL 系) / CX-7

・ BSM エーミング： ROADSTER(ND 系の年式が 2017 年以前の車両)

故障コードの読取り消去の対象システムを追加しました。

・ ROADSTER(NC 系) -RHT, DHS

・ ROADSTER(ND 系) -AM, BSM, CMU, ESU, EVP, RHT, HUD, SSU

・ RX-8(2003 年以降) - SASM

・ RX-8(2008 年以降) - LCM

・ AXELA(BL 系) - ACU, LCM, MID, RVM, BSML, BSMR

・ AXELA (BM6FJ) - AM, CMU, DCM, DSM, EPB, HUD, SSU

・ CX-7 (2006 年以降) - AM , LCM

・ CX-7 (2009 年以降) - ACU, AM , LCM, MID, RVM

#### 【国産トラック 編】

《いすゞ》

2007 年以降の車両で車両選択時に自動検出機能を追加しました。

---